

やさしくできる 内部統制

①

2人以上社員がいる会社すべてに求められている内部統制。対応を怠ると役員退陣など大きな問題にも発展しかねません。では何から始めたらいいのか？という方のために、日常の職場の中で起こりやすい問題を取り上げ、すぐにできる解決策を提案します。

企業不祥事の最初は ボールペン1本

戸村智憲

日本マネジメント総合研究所 理事長

ある日の備品室——

健介：あっ、そうだ。うちのボールペンが切れてたっけ。会社のをもらっていこうっと。

部長：おいおい、健介君、そこで何をしてるんだい？

健介：部長～、どうも、お疲れ様です。うちの家で使うボールペンをもらっていこうと思ってたんですよ

部長：こらこら。会社の備品を勝手に私用に持っていっちゃダメじゃないか。

健介：え～、でも、たったボールペン1本くらいで目くじら立てなくてもいいじゃないですか。別に盗むってわけじゃないですよ。ちょっと拝借するだけですよ。



イラスト/ドスコイ

部長：バカモン！ そんなちょっとした気の緩みが不祥事につながるんだよ。ダメったらダメなの！



(とむら・とものり)

岡山大学大学院 非常勤講師(2008年～)、公認不正検査士、J-SOX対応促進協議会顧問。早稲田大学卒業。米国MBA修了。国連勤務にて国連戦略立案エキスパート・リーダー、国連職員研修特命講師、国連内部監査業務主担。(社)日本能率協会BSCコンソーシアム公認BSCコンサルタントに招聘される。SOX法・内部統制のスペシャリスト資格である公認不正検査士を取得。現在、同分野の産学両面で活躍中。

<日本マネジメント総合研究所> <http://www.b-info.jp/JMRI/>

戸村智恵主査 SOX法研究会のご案内

新入社員さんからベテランまで。内部統制の基礎から最新動向まで。やさしく楽しく学びあう会で、およそ月1回、金曜日の19:00~21:00に東京(赤坂)で開催しています。ご興味のある方は、info@jmri.jpまで件名「SOX法研究会メーリングリスト登録希望」、氏名・所属・部署名・役職名・メールアドレスを明記の上、ご連絡下さい。ホームページのお問合せページからでも結構です。

戸村智恵 最新刊のご案内 4月発売予定!

『リスク過敏の内部統制は、 こう変える!』

著者：戸村智恵/出版文化社刊

すべての企業・組織・官公庁に必須の内部統制をやさしく深く読み解く力(内部統制リテラシー)を養うための日本初の本です。リスク管理から明るい監査・明るいコンプライアンスへ向けたヒントが満載の決定版!



ボールペンの無断持ち出しは 社長の責任

おやおや、健介君と部長がただならぬ雰囲気ですね。部長もいちいちボールペン1本でうるさく言わなくてもいいじゃないですか、本当にそうでしょうか。ボールペン1本といえども、それは単なるどこにでもあるボールペンではないのです。じゃあ、どういうことかって? その疑問こそが内部統制への第一歩です。

さて、この1本のボールペンは会社が購入したものであり、会社の資産として備品庫に置かれていたものです。つまり、ここで健介君がやろうとしていたことは、「会社の資産を私用で無断持ち出ししようとしていた」と言うことができるのです。たった1本のボールペンですが、健介君が会社の資産を横領しているという意識が希薄だったことが、部長の怒りを呼んだということなのです。

これが同じ会社の資産でも、金庫のお金1000円であればどうでしょうか。1000円くらいなら大したことはない、というのであれば、では2000円では? 1万円では? 1億円では?

このように、会社の資産を横領する意識が希薄で、「これくらい持って帰ってもいいだろう」「これくらいもらっていてもいいだろう」という安易な気持ちがエスカレートすると、次第に大きな企業不祥事に発展します。

それでは、会社の資産を守るように徹底した

管理を行き届かせる必要が、部長や社長や役員に対して課せられているのでしょうか? 答えはイエスです。すでに、2006年5月1日に、新会社法が施行され、すべての会社に内部統制の構築と運用が求められています。違反や無視をしていたら、会社の社長や役員に対して、会社という預かりものの善良なる管理者としての注意義務を怠ったとして、善管注意義務違反に問われてしまいます。で、この内部統制ですが、4つのポイントがあります。

① 業務活動を有効的かつ効率的に行う

カイゼンやISO9000のようなマネジメントも対象です。

② 財務報告の信頼性を担保する

粉飾決算や脱税はダメですよ、ということです。

③ 法令遵守

すべての法律を守って健全に事業を営んでね、ということです。

④ 資産の保全

このボールペン1本のケースは、④に該当するのです。この資産の保全で問題になったケースとしては、在庫管理がいい加減で、部下が勝手に在庫の横流しをしているような不祥事があります。内部統制の第一歩は、意外にも身近な備品の持ち出しチェック表への記入や在庫棚卸しの徹底管理にあるのです。 ■